

今月の一言

キーワード：みんな新しいものを待っている

村上 国内の消費は相変わらず霧がかかったような感じですね。

鈴木 やはり消費というのは、ものが豊富になればなるほど、心理的な影響が非常に大きくなるんですね。例えば私どもではグループで「セブンプレミアム」というプライベートブランドを出していますが、みんなPBというとなショナルブランドに対して安いものだという考え方を持っていました。だけど私はそうじゃないと。安いものを望むお客様もいらっしゃることは事実です。けれども、もっといいものが欲しいというお客様もいます。仮に安いものを望むお客様が五割、もっといいものを望むというお客様が五割いらっしゃるとしたら、安いものを望むというお客様にみんなが焦点をあわせているんじゃないかと。もっといいものが欲しいと言うお客様にあまり焦点を合わせていないんじゃないか。その結果、価格競争になっていることが、私には一番の大きな原因じゃないかと思います。物が不足している時代には安いということが^{きんかぎよくじょう}金科玉条だったのですが、今の時代はもうそうじゃなくなっている。

村上 「金の食パン」をいただいてみておいしかったのですが、逆に感じたのが、コンビニエンスストアが、ここまでおいしいものを作らなければいけない時代なんだと、ちょっと複雑な気分になりました。あれだけのクオリティのものを作れるのはセブンイレブンしかないんじゃないですか。

鈴木 最初から私どもは価値を追求した商品を作るという理念といたしますか、他と差別化するという考え方でやってきましたから、別にそれほどコストをかけているわけではありません。わたしどものグループにはスーパーがあり、コンビニがあり、デパートがありますが、実は最初に「セブンプレミアム」を作るとき、みんなそれぞれの立場から反対しました。 著書：カンブリア宮殿 村上龍×経済人 スゴい社長の金言 著者：村上龍

仕事はサービス業！

2017年6月23日

さいのう とおる

追伸：半期が終わります。後半に向けてしっかり見直しをお願いします。